

大阪府内9市町村合同の『健康危機管理研修』を実施しました！

日時：2017年11月27日（月）13：00～16：30

場所：富田林土木事務所 3階 講堂

参加者：南河内ブロック市町村（富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、藤井寺市、羽曳野市、松原市）の危機管理担当・保健センター保健師等、大阪府富田林保健所職員、大阪府藤井寺保健所職員、その他大阪府職員（46名）

ファシリテーター：建築学科生12名＋大学院生1名＋教員2名（計15名）

今回の見どころ

健康危機管理研修とは、保健所が主催し被災地の公衆衛生の復旧を早めるために実施する災害研修です。今回の健康危機管理研修では、富田林保健所管内の6市町村と藤井寺保健所管内の3市町村を対象に実施します。これらの市町村の保健センター職員と危機管理担当者が集まり、自分の市町村に災害が起こったと想定し、被害のアセスメントを行います。一般的な災害研修は、危機管理担当者のみで行っていますが、摂南大学では保健師と危機管理担当者が合同で行う研修を始めており、全国的にも珍しい取り組みです。

プログラム実施風景



本日の災害訓練の流れを説明しています。全員が熱心に聞いていました。



各市町村の地図を使って、被害の状況を付箋に貼っています。



ある混乱した避難所に対し、避難者数を全員で数えています。



避難者の内、福祉避難所に送る人を決めています。なかなか決まりません。



各市町村の結果を発表しました。「まだまだ訓練が必要だね」という声が聞えます。



最後に池内先生と宮園先生（富田林保健所長）による講評が行われました。

プログラムの実施結果

今回の研修で、私は各市町村が使用する地図作成を手伝いました。各市町村で使用するベース地図が違うことから、研修中では被害状況のまとめ方や情報収集方法、重点に置く事柄に違いが見られました。私の担当した班では、6人が役割分担して進めており、作業を効率よく進めていました。しかし、みんなで意見を合わせる所では苦戦しているようでした。班の発表を聞く際には、参加者から「透析患者には注意を向けないといけないあ」と言った共感の声を聞くことができました。机上訓練の大変さから実災害時での対応の難しさを感じることができました。

参加して頂いた大阪府内9市町村の保健師の方、危機管理担当者の方、職員の皆様、ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。